

第56回近畿地区国立大学体育大会（体操競技）実施要項

〔1〕競技日程 平成30年9月7日（金） 公式練習日：9月6日（木）

〔2〕競技会場 ベイコム総合体育館（兵庫県尼崎市西長洲町1-4-1）

〔3〕種目 男子6種目，女子4種目

男子・・・ゆか，あん馬，つり輪，跳馬，平行棒，鉄棒

女子・・・跳馬，段違い平行棒，平均台，ゆか

〔4〕競技次第

1. 開会の辞 競技委員長 10：30～
2. 優勝杯返還 前回優勝校 京都大学
3. 競技上の注意 審判長
4. 競技
5. 競技終了
6. 成績発表 学生役員
7. 表彰 競技委員長
8. 閉会の辞 競技委員長

〔5〕大会役員

競技委員長 杉本直三（京都大学）
専門委員 古和悟（大阪教育大学）
総務委員 井上忠士（京都大学）
廣瀬泰子（京都大学）
川野裕介（京都大学）
田原紘樹（京都大学）

〔6〕競技役員

審判長 大阪府体操協会 片山潤
審判員 大阪府体操協会 他

〔7〕学生役員

学生委員 小槇祐輝
総務係 青葉隆仁
受付係 青木基
記録係 小野雄大
放送係 岡田悠里（京都大学）

〔8〕実 施 要 項

1. 参加申込

- (1) 締切期日 平成30年7月27日（金）必着
- (2) 申込先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学教育推進・学生支援部厚生課課外活動掛
(TEL:075-753-2504 FAX:075-753-2512 mail:840kagai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)
- (3) 参加資格 (ア) 本大会規程第13条適用
(イ) 選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。
- (4) 参加人数 1チームは3～4名をもって構成し、各大学男女とも複数チームの出場を認める。ただし団体の表彰対象となるのは最も成績の良いチームとする。
- (5) 申込方法 所定の依頼方法（参加申込）により提出すること。
- (6) 派遣審判員 今年度は審判員全員を本部から依頼しているため、各大学から派遣する必要はありません。

2. 競技方法

- (1) 試合規則 男女とも本大会の競技規定に基づくものとする。
- (2) 得点 団体得点は、各種目上位3名の合計得点とする。
- (3) 審判 本大会は2審制を採用し、少なくとも審判長及び主任審判は、大阪府体操協会等に委嘱する。
- (4) 実施技申告 男女とも提出の必要はない。

3. 表 彰

男女別で、団体総合は3位、個人総合は6位、個人種目別は各種3位までとする。

4. そ の 他

- (1) C・M会議は、9月6日（木）16時00分から行う。
- (2) 選手の変更は、C・M会議で受け付ける。以後の変更は認めない。
- (3) 会場の使用は、9月6日（木）9時からです。
- (4) 試合会場の器具のセッティングは12時から参加大学全員で行う。
- (5) 選手は、ゼッケン（縦10cm×横12cmの白地）を付けること。
競技冊子の選手名簿に記載されている番号を、1cm前後のゴシック体で、「男子は黒、女子は赤」の楷書で記入すること。

試 合 規 定

1. 男子競技規則（高等学校適用規則）

*次に示すもの以外は、2017年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

(1) 終末技について

A 難度 +0.10

B 難度 +0.20

(2) 技の認定と難度の設定について

1) 下記に示す技は、2017年版採点規則とは異なる難度の認定および設定を行う。

ここに示した以外の振動から倒立位になる技は採点規則通りである。

【つり輪】

・ 屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪倒立）：C 難度（グループ I）

・ 屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪倒立）：C 難度（グループ I）

* 屈腕の減点およびその他の減点，伸腕の捌きと同一枠

【平行棒】

・ 前振りひねり支持 45° 未満：C 難度（グループ I）

* 角度減点（0.5）およびその他の減点，倒立位の捌きと同一枠

【鉄 棒】

・ 足裏支持回転（ひねり）倒立：A 難度（グループ III）

2) 下記の終末技はA 難度（グループ IV）とする。

つり輪，平行棒，鉄棒の前方・後方かかえ込み宙返り下り及びそのひねり技

3) その他採点規則には記載がないが，今後の練習において技の習得に必要な動きについては，A 難度未満の技であっても審判員が判断して技とグループを認定できる。ただし事前に新技申請されたものに限る。以下にその例を示す。

【ゆ か】

・ とび正面支持臥：難度なし（グループ I）

・ ロンダート：難度なし（グループなし）

【あん馬】

・ 四つ足交差：難度なし（グループ I）

・ 馬体に飛びついて下向き転向降り：難度なし（グループ IV）

*E 審判によって，落下減点（-1.0）を伴う

【つり輪】

・ 足掛け逆上がり支持：難度なし（グループ I）

*E 審判によって，ケーブル接触減点（-0.5）を伴う

【跳 馬】

・ 台上前転：D スコア 1.0 で認定する

*E 審判によって器具接触減点（-0.5）を伴う

【平行棒】

- ・後ろ振り上がり支持：難度なし（グループⅡ）
- *E 審判によって無価値な振れ戻りによる減点（-0.3）を伴う

【鉄 棒】

- ・後ろ振り上がり支持：難度なし（グループⅠ）
- ・前回り：難度なし（グループⅢ）
- ・後ろ回り：難度なし（グループⅢ）
- *いずれも E 審判によって器具接触減点（-0.5）と演技停止減点（-1.0）を伴う

（3）加点について

あん馬を除く 5 種目において終末技の着地をとめた場合， E 審判によって 0.10 の加点を与える。

（4）ゆかの 2 回宙返り技について

ゆかにおいて 2 回宙返り技がない場合， 0.1 の ND（ニュートラルディダクション）とする。

（5）補足

- 1) つり輪，跳馬，平行棒，鉄棒において， 1 名の補助者をつけることができる。
- 2) 「服装違反」については，個人に対する減点とし， D 1 審判により決定点から 0.3 の減点となる。
- 3) オーダーミスについては，個人に対する減点とし， D 1 審判により最初に間違えた選手の決定点から 0.3 の減点となる。
- 4) つり輪で着地マットの使用を認める。

2. 女子競技規則

*変更規則 I に対して以下の部分変更を行う

（1）A 難度(0.1)が認められる要素への追加

【段違い平行棒】

- ・そんきよ
- ・高棒大振り逆上がり
- ・高棒足掛け上がり

【平均台】

- ・ロンダードおり
- ・転回(前方ブリッジ)おり

*以上の技は 1 技と数えられるが構成要求には利用できない。また，終末減点は適用する。

（2）跳馬の特別規則

- ・台上前転（D スコア 0.0， E スコアを 5.00 満点とする。）
- * 2 回の跳躍を実施し，よい方のスコアを有効点とする。

(3) 床の特別規則

- *アクロラインが0本の場合も、アクロバット系の技を技数、難度ともに認めるものとする。
ただし、終末減点は適用する。